

## 香川県吉野川水系日開谷川で採集されたオヤニラミ

氏部崇之<sup>1</sup>・川田正明<sup>2</sup>・高木基裕<sup>3</sup><sup>1</sup>高松市立山田中学校<sup>2</sup>香川県立高松桜井高等学校<sup>3</sup>愛媛大学南予水産研究センター写真1 *Coreoperca kawamebari* オヤニラミ (TKMP-P 27073)

## 種の記録

Sinipercidae ケツギョ科

*Coreoperca kawamebari* (Temminck and Schlegel, 1843) オヤニラミ(写真1)

標本 徳島県立博物館魚類標本 (TKMP-P) 27073-27076.

採集年月日: 2024年3月28日. 採集場所: 香川県東かがわ市 日開谷川上流域 (34.192139N, 134.249028E). 採集方法: タモ網. 採集尾数: 8 個体, 標準体長 39.5-85.0mm (うち 4 尾を標本として保管).

## 種の特徴

採集個体はいずれも鰓蓋上方に暗色の眼状斑がある(生時, 青~緑色で前方は赤く縁どられる)こと, 主鰓蓋骨の上方に2本の大きな棘があること, 尾鰭後縁は円形ないし截型であることなどの特徴が波戸岡(2013)のオヤニラミと一致したため, 本種と同定した.

## 備考

本種は京都府以西の本州, 四国北部, 九州北部に自然分布するが, 生息数は減少し, 環境省のレッドリストでは絶滅危惧 IB 類に指定されている. 香川県のレッドリストでも絶滅危惧 I 類ならびに香川県希少野生生物の保護に関する条例の指定希少野生生物に指定されている(香川県, 2021). 香川県内で本種はこれまで, 西部の土器川と金倉川および土器川と接続するまんのう公園のため池から報告されているのみであるが(氏部ほか, 2021), 今回, 香川県東部にあたる吉野川水系日開谷川から新たに生息が確認され

た. 今回の採集地では, 広範囲にわたり, 小型個体を含む複数個体が容易に採集できたことから, 日開谷川上流域で再生産しているものと考えられる. 吉野川水系ではこれまでにオヤニラミの生息情報はなく, 今回の採集個体は移入由来である可能性が高いため, 遺伝子解析による詳細な判定が必要である. なお, 採集は香川県の許可を得て(許可番号第 27 号), 希少野生生物保護推進員の指導下で行った.

## 引用文献

波戸岡清峰. 2013. ケツギョ科. 中坊徹次(編). 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 東京. 747, 1957.

香川県. 2021. オヤニラミ. 香川県レッドデータブック 2021. (<https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/23991/7gyo2.pdf>, 2024年4月9日参照).

氏部崇之・山田裕貴・川田正明・高木基裕. 2021. 香川県まんのう公園で採集されたオヤニラミの由来. 香川生物 (48). 7-13.

(2024年4月8日受付, 2024年4月10日公開)

連絡先: 高木基裕 (e-mail: takagi.motohiro.mc@ehime-u.ac.jp)

(Takayuki Ujibe, Masaaki Kawada and Motohiro Takagi. 2024. Record of *Coreoperca kawamebari* (Sinipercidae) from Higaidani River, Yoshino River System, Kagawa Prefecture. NS Fieldnote, 24006)